こどもの城ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2004・7・15 NO.151

発行／〔こどもの城〕広報部☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

観察しよう！

自然界の生きものはすべて仲間なのですが、なかには自分の命を守るために、強い毒をもった生きものもいます。キイロスズメバチにさされる事故が、毎年たくさん報告されていますが、ハチは自分からこうげきすることはありません。巣をこわされたり、仲間を殺されたりすると、おこってこうげきします。とくに、黒い部分をめがけてきます。くわしく観察するとおもしろい生きものですが、見つけたらすぐに離れましょう。　（横浜・こどもの国）

〔こどもの城〕は、7月17日～8月31日が夏休み特別期間。午前10時から午後5時30分まで毎日開館しています（9月1～3日は休館）。スポーツ遊び、造形遊び、音楽遊び、映像遊び、パソコン遊び――いろいろな遊びがあります。元気に体を動かす遊び、心のなかにあるなにかを“かたち”にあらわす遊びなど、楽しみ方もいろいろな遊びがあります。

第12回 キンダー・フィルム・フェスティバル

国際こども映画祭　8月13～22日　青山円形劇場ほか

夏休みの恒例プログラムとなった「キンダー・フィルム・フェスティバル」は、8月13～22日に青山円形劇場で行われます。子ども審査員が選ぶグランプリのほか、子どもジャーナリストが作る映画祭新聞、上映会の司会・進行など、さまざまな場面で子どもたちが活躍する、子どもの、子どもによる、子どものための国際映画祭です。

海外からの作品は、字幕を使わずに“ボイス・オーバー方式”で上映。もとのセリフにかぶせるように、日本語のセリフを吹きかえるので、画面（映画）に集中することができます。いろいろな側面から、映画のおもしろさを体験してもらおうと海外からのゲストを招いて毎年行っているワークショップ。今年は、ニューヨーク生まれでノルウェー育ちのエルサ・クヴァンメさんが映画のなかで“演じる”をテーマにしたワークショップを青山円形劇場の大きなスクリーンに映像を映しだしながら行う予定です。

コンペティション参加予定作品

ドラマ部門

子ども審査員の審査の対象となるコンペティション参加作品は、ドラマ部門6作品、アニメーション部門5作品を予定。「キンダー・フィルム・フェスティバル」では、このほかにもたくさんの作品を上映します。

リトル・ダディー（LITTLE DADDY）

（ミケール・W・ホーステン監督／デンマーク／14分）

「リトル・ダディー」

かまってくれないお父さんに、ちょっぴり不満な女の子。家への帰り道、お父さんを振り向かせるための“作戦”をはじめました。

ホテル・ハイビスカス（HOTEL HIBISCUS）

（中江裕司監督／日本／92分）

「ホテル・ハイビスカス」
©2002「ホテル・ハイビスカス」パートナーズ

小学3年生のおてんば娘・美恵子の冒険と成長を郷土色豊かに描がいた、心あたたまる作品。原作は仲宗根みいこの同名まんが。

エリーナ（ELINA）

（クラウス・ヘールエー監督／スウェーデン／80分）

病気がちなエリーナが再び学校に通い始めました。でも、彼女が心を開ける場所は家でも学校でもなく、亡くなった父と話せるいつもの沼だけ。

フィア（FIA）

（エルサ・クヴァンメ監督／ノルウェー／103分）

「フィア」©Norwegian Film Institute

フィアとお母さんはとてもなかよし。でも、お母さんにはちょっと変わったところがありました。ほんぽうな母としっかりもののフィアのおはなし。

「マイ・シスターズ・キッズ」
©Moonlight Filmproduction 2001

マイ・シスターズ・キッズ（MY SISTER'S KIDS）

（トーマス・ヴィロン・イエンセン監督／デンマーク／78分）

子どもがいない児童心理学の教授が、妹の5人の子どもたちをあずかることに……。デンマークで大ヒットしたシリーズの第1弾。

ヨンの初恋（CHRISTMAS COMES ON A BICYCLE）

（パク・スンウク監督／韓国／16分）

クリスマスの日。ヨンは、ひそかに思いをよせる自転車屋の娘ウンジョンに話かけようとするのですが……。そのとき思いついた、かわいらしい方法は？

映画のなかで“演じる”をテーマにワークショップ

8月20日に青山円形劇場で

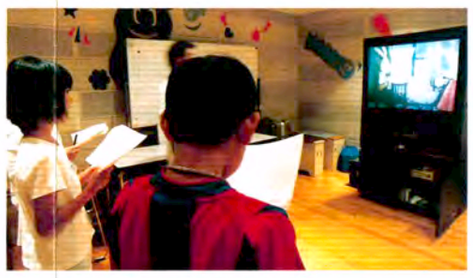
8月20日には、映画のなかで“演じる”をテーマにしたワークショップを予定しています。

講師は、コンペティション参加作品の『フィア』を監督したエルサ・クヴァンメさん（写真）。ノルウェーで演劇を学んだのち、自らの劇団を作りヨーロッパ各地を公演。さらにニューヨークにわたって、多くの映画監督を送りだしている映画学校で映画を学びました。

ワークショップでは、すばらしい映画俳優になるための秘密を話したり、実際に演じてもらって、それをカメラで撮影、会場の大きなスクリーンに映しだしたりします。映画作りのなかで、“演じる”ことのおもしろさ、楽しさ、そして“演じる”ことが映画という表現におよぼす力を体験するワークショップ。

子ども審査員の審査会。それぞれが自分の意見をしっかり述べ、みんなが納得するまで話しあいます。

詳細は、下記にお問い合わせください。
キンダー・フィルム・フェスティバル事務局
TEL　03-3327-8670
FAX　03-3327-4486
E-mail　director@kinder.co.jp
Web site　http://www.kinder.co.jp

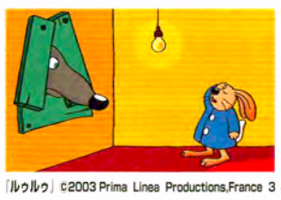


声優体験ワークショップ　上映会場でライブでふきかえ

アニメのふきかえ（アフレコ）を体験する「声優体験ワークショップ」も行う予定です。プロの声優の指導のもと、配役を決めて声の出しかたやセリフのタイミングなどを練習。ワークショップの最後に、上映会場である青山円形劇場でたくさんの観客の前でライブでふきかえします。

部門 アニメ

「はじめてのおつかい」



「ルゥルゥ」©2003 Prima Linea Productions,France 3 & Gebeka Films

あらしの夜（STORMY NIGHT）

（ミシェル・レミュー監督／カナダ／10分）

眠れない夜。少女の頭のなかをさまざまな疑問がかけめぐります。どうして？　なぜ？　子どもから大人まで、だれもの共感をよぶ哲学のはじめの一歩。

わがままなおきゃくさま（ME AND THE GIRAFFES）

（レナート&ユルヴァ・グスタフソン監督／スウェーデン／6分）

キリンとワニが遊びにきました。でも、かってにおふろに入ったり、ポップコーンを作ったりして、おおさわぎ。

ルゥルゥ（LOULOU）

（セルジュ・エリサルド監督／フランス／29分）

ウサギとなかよしの、心やさしいオオカミのルゥルゥ。ある日、ウサギの耳をかじってしまいました。

はじめてのおつかい（THE FLY SOUP）

（レナート&ユルヴァ・グスタフソン監督／スウェーデン／32分）

小さなカエルと大きなネコ――助け合いながら冒険。初めてのおつかいは、うまくいったのでしょうか？

ビートル・ボーイ（BEETLE BOY）

（アレキサンドラ・シャッツ監督／ドイツ／5分）

「ビートル・ボーイ」

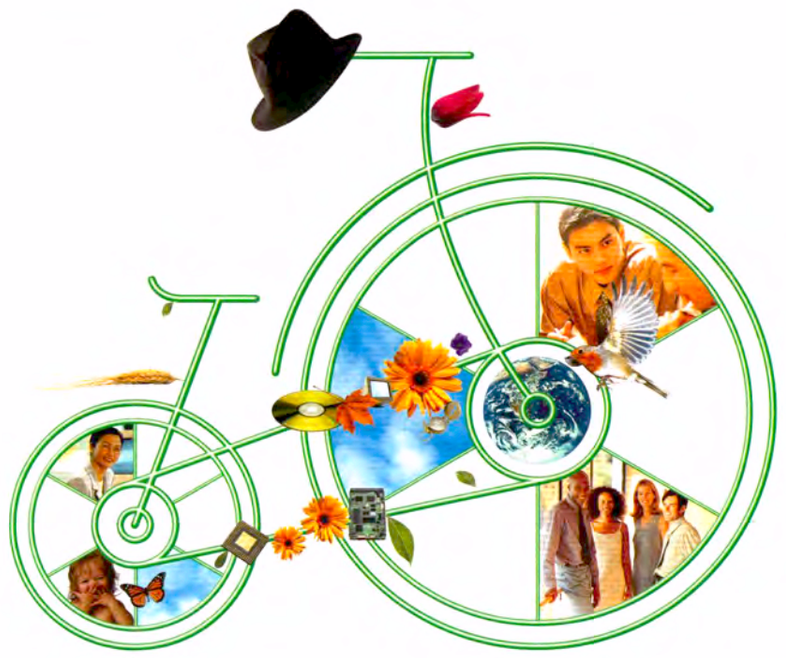
ある朝、めざめたら虫になっていた！　カフカの小説「変身」を題材に、少年と家族のある一日を描きます。

人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、
富士通グループ16万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、
環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、
ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、
さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンに

FUJITSU
THE POSSIBILITIES ARE INFINITE



葉っぱの楽器＝草笛をみんなで合奏

新緑の季節に恒例となった、わいわいスタジオ「風とうたおう～草笛コンサート」が六月六日に開かれました。出演は、中島進四さんと仲間たち。演奏だけではなく、葉を丸めて吹く草笛の作り方を教わり、みんなで合奏しました。

ボランティア活動に興味を持つ高校1･2年生が対象

可能性にチャレンジ！L.I.T.メンバー募集

社会参加の意義や喜びを体験的に学ぶ高校生のグループL.I.T.のメンバーを募集しています。対象は、現在高校1・2年生で、子どもを対象としたボランティア活動に興味を持ち、将来的にボランティア活動をしてみたいと思っている人。

L.I.T.というのは、Leader In Trainingの略。“トレーニング中のリーダー”という意味です。〔こどもの城〕では、子どもたちと一緒に考えたり、活動したりしているボランティアを“リーダー”と呼んでいるので、ボランティア活動の準備をしている高校生ということになります。

活動は、原則として月2回（日曜日）。主に〔こどもの城〕で活動。遊びをとおして子どもたちと、高校生ならではのボランティア活動を考え実行します。ほかに、数回の合宿などの実習活動（近隣の野外活動施設利用）もあります。

自主的に運営していくのが原則なので、活動内容は集まったメンバーで話し合い、決めていきます。

参加希望の人は、保護者に参加の意志を伝えて了解を得てから、本人が直接電話でお申し込みください。7月17日から先着順に受け付けします。定員は30人。活動期間は、9月から来年8月まで。年会費8,000円（通信費・プログラム費など。合宿費は別途）。1回目の活動（開講式）は9月19日午後1～4時を予定。

お申し込み・お問い合わせは、企画研修部【03-3797-5675】へ。

子育て支援講習会開く

「最新の小児保健の基礎と実際～心とからだの健康0.1.2歳児～」をテーマにした第4回こどもの城子育て支援講習会が6月4・5日に開かれました。

子育てを楽しく豊かにする「親子教室」

対象は1歳児の親子、9～11月に開講――受講生を募集中

保育研究開発部では、年3回、1歳児の親子を対象に、子育てを楽しく豊かにするための「親子教室」を開催しています。保育スタッフの指導で親子遊びや友だち遊びの体験をしたり、お父さん・お母さん同士が子育てへの思いを話しあう場を設けたり、医学や心理発達などについての講義を受けたり――さまざまな側面から子育てを考えます。

月曜日を中心に土・日曜日を含めて全10回のコースです。9～11月に行われる「親子教室」の参加者を募集しています。対象は、2002年4月2日～03年4月1日生まれ（1歳児）の子どもと父母16組。給食（親は軽食）・教材費を含む受講料は35,000円ほか。

参加申し込みは、所定の申し込み用紙とアンケート用紙（保育研究開発部窓口で配付中）に必要事項を記入の上、郵送していただく方式をとっています（8月10日必着）。応募多数の場合は抽選。なお、電話での受け付けはしていません。

お問い合わせは、保育研究開発部【03-3797-5669】へ。

9月から始まる〔こどもの城〕の講座・クラブ（2期）の受講生募集中（先着順）

「リズム・ムービング」「小学生水泳」「こどもクリエイティブクラブ」「じょいんクラブ」のほか、幼児から小・中・高校生、一般を対象とした講座・クラブの受講生を募集しています。詳細は「講座・クラブ受付係」【03-3797-5666】へお問い合わせください。

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会パソコン編開く

こどもの城となかまたち

パソコン使ってクラフト遊び

基礎的な知識もまじえながら実践的に

平成16年度こどもの城児童厚生員等実技指導講習会パソコン編第1回が、6月9･10日の2日間にわたって開かれました。テーマは「児童館でのパソコン遊び(1)～パソコンで楽しむペーパークラフト～」。

〔こどもの城〕で行っているグラフィックスソフトを活用したさまざまなクラフト遊びを中心にパソコン遊びを体験したのち、遊びの素材となるデータ作成などの準備の仕方を実習しました。岩手県や鹿児島県からの参加者も含め、19人が参加しました。

グラフィックスのソフトにはペイント系（お絵書き）とドロー系のものがあり、遊びの発展性などを考えながらプログラムによって使い分けていること、データを保存する場合は形式まで考慮しておかなければならないことなど、基礎的な知識も折り込みながら講習を行いました。パソコン遊びのプログラムを提供するためには、既存のソフトを遊び向けにアレンジするので、最低限の基礎知識が必要になるからです。

箱を作るクラフト遊びの場合、展開図から作図していくこともできますが、子どものことを考えると、パソコンでデザインしたものをプリントアウトして厚紙にはりつけ組み立てるという流れのなかで、どの部分を“遊び”として用意しておくかを考えることが大切になります。〔こどもの城〕では、限られた時間で子どもたちがパソコン遊びを体験できるように、基本となる“ひな形”を用意し、子どもたちがイメージを広げて楽しめる部分（色や模様を考え、イラストや文字などを自由にレイアウトすることなど）をバランスよく組み合わせています。

“ひな形”となる図面の作成練習、素材となる画像の作り方、そして遊び方を説明するマニュアルやポスターなどの作り方を実習。遊びのプログラムを考え、子どもたちに提供するために必要なことがらを実践的に学びました。

「子どもが活動するときの様子と提供するほうの立場で必要な話が聞けて、これから遊びを計画するのにとても勉強になりました」「日ごろのパソコンとは違い、遊びに展開できるヒントがいっぱいで、とても役立ちました。予算的なこともあって、取り入れられない部分は、知恵をつかっておぎなっていきます」などの感想が参加者から寄せられていました。

一人一台のパソコンを使って講習会が行われました。

7月31日・8月1日に保育セミナー

「子育て家庭のよきパートナーになるためにII」

対談、シンポジウム、分科会――さまざまな形でアプローチ

第18回こどもの城保育セミナー「子どもと生活・家庭と文化 PART V～子育て家庭のよきパートナーになるためにII～」が、7月31日と8月1日に開かれます。

31日は全体会。午前中が、山崎美貴子さん（神奈川保健福祉大学）と巻野悟郎（こどもの城小児保健クリニック）による対談「家族を考える～医療と福祉の観点から～」。午後は、シンポジウム「現代の子育てトピックス」。「虐待の背景は？」のテーマで庄司順一さん（青山学院大学）、「子育て家庭の現状」のテーマで奥山千鶴子さん（NPO法人びーのびーの）が、それぞれ話題を提供。

1日は、分科会。「ハイリスク家族を支える支援とは？～虐待・心に病のある親への対応」（助言者＝倭文真智子さん・東京都墨田児童相談所）、「子どもをどう理解するか？」（助言者＝菊池政幸さん・社会福祉法人東京児童協会船堀中央保育園）、「ワークショップ～絵本とどうつきあうか」（助言者＝山口雅子さん・学習院女子大学）の3つの分科会に分かれてセミナーが行われます。

対象は、保育所、幼稚園、保健所、児童館など子育て支援のプログラムを行っている施設の職員および関係者ほか。受講料は13,000円。定員150人（先着順に受け付け中）。

参加申し込み・お問い合わせは、保育研究開発部【03-3797-5669】へ。

7月15日に季節の離乳食講習会

5～15か月児と保護者を対象に、離乳食の考え方や与え方を〔こどもの城〕の管理栄養士とともに考える「季節の離乳食講習会」が7月15日午後1時30分から開かれます。受講料は2,000円。詳しくは、小児保健部【03-3797-5667】へお問い合わせください。

青山劇場パフォーミング・アーツ・セミナー

体を使ったコミュニケーション「はじめてのダンス」に挑戦

パフォーミング・アーツ（舞台芸術）の魅力をより多くの人に知ってもらおうと、青少年や一般の人を対象にしたワークショップやフォーラムを行う「APAS（青山劇場パフォーミング・アーツ・セミナー）」を〔こどもの城〕の青山劇場・青山円形劇場で昨年から行っています。

6月27日には、小中学生を対象としたワークショップ「はじめのダンス（青少年向け）」が、青山劇場Bリハーサル室で開かれ、20人がアレッシオ・シルベストリンさんの指導で、ダンス＝体を使ったコミュニケーションを体験しました（写真）。

6月25～27日には、ダンス経験者向けの「アレッシオの振付ワークショップ」も行われました。8月30･31日には、イスラエルのバットシェバ舞踊団芸術監督の稲尾芳文さんを招いて「稲尾芳文・ダンサーのためのワークショップ」、2004年2回目のダンスフォーラム「イスラエルのダンスのいま」（対談＝稲尾芳文×乗越たかお）を開催します。

APASについてのお問い合わせは、劇場事業本部【03-3797-5678】まで。

「少子社会を生きる！」テーマのエッセイを募集中

少子社会をどう考え、どう生きるか――「少子社会を生きる！」をテーマにしたエッセイを募集しています。主催は、こども未来財団と読売新聞社。優秀作品には賞金が贈られます。

少子化の進行は、国民生活全般に大きな影響をもたらしてきています。そこで、少子社会のなかで次代をになう若い世代（15歳以上40歳未満）の人たちが、どのような問題意識をもって暮らし、生きようとしているのかをテーマにしたエッセイを募集。少子社会を生きることの意味を考えてみようというもの。応募要領は下記のとおりです。

■応募規定■15歳以上40歳未満（一人一作品）／日本語で書かれた、自作の未発表・未投稿作品／3,200文字以内（ワープロ可）／作品の表紙に題名、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、職業、郵便番号、住所、電話番号を明記／入賞作品の著作権は主催者に帰属。応募作品は返却しません。
■募集期間■平成16年7月9日～9月30日（当日消印有効）
■発表■平成17年1月に読売新聞紙上で発表
■表彰■こども未来財団賞1編（賞金50万円）／読売新聞社賞1編（賞金30万円）／入選5編（賞金5万円）
■審査員（順不同・敬称略）**■**茂木賢三郎（キッコーマン副会長）／マークス寿子（秀明大学教授、作家）／宮脇陽子（野村総合研究所主任コンサルタント）／高橋和（女流棋士）／小谷直道（前読売新聞特別編集委員）／横田吉男（こども未来財団理事長）
■応募先■〒104-8325　東京都中央区京橋2-9-2　読売新聞東京本社事業開発部「少子社会」係

高円宮憲仁親王殿下メモリアル・ローザンヌ国際バレエコンクール日本開催15周年

ローザンヌ・ガラ

ローザンヌ国際バレエコンクール入賞者が出演　8月10･11日　青山劇場

高円宮憲仁親王殿下メモリアル・ローザンヌ国際バレエコンクール日本開催15周年「ローザンヌ・ガラ～ローザンヌ国際バレエコンクール入賞者による～」が、8月10･11日に青山劇場で行われます。

2002年に亡くなられた高円宮さまは、バレエへの造詣が深く、開館した翌年から2000年まで15年間にわたって青山劇場で開催した「青山バレエフェスティバル」には、昭和天皇崩御の年を除いて毎回ご来場。また、1989年に青山劇場・青山円形劇場で行われた「第17回ローザンヌ国際バレエコンクール東京開催」の名誉総裁として、日本のバレエ・ダンスの発展につくされました。

高円宮さまを追悼して、世界各地で活躍しているバレエダンサーが、高円宮さまゆかりの青山劇場に集い、「ローザンヌ・ガラ」の公演を行います。

□**日時**□8月10･11日（午後6時30分）
□**料金**□A席＝7,000円／B席＝6,000円（全席指定）
□**お問い合わせ**□こどもの城劇場事業本部【03-3797-5678】

デーモン小暮の邦楽維新 Collaboration 青山夏場所　怪談 魘作・牡丹灯籠

朗読パフォーマンスも登場！　8月17･18日　青山劇場

“邦楽使いの達魔（たつじん）”デーモン閣下＆黒船バンドが、能管、大鼓、尺八、箏のトップアーチストたちと超豪華なコラボレーションを繰り広げる「デーモン小暮の邦楽維新Collaboration青山夏場所　怪談　魘作･牡丹灯籠」が、8月17･18に青山劇場で行われます。

デーモン小暮閣下は、最初のソロアルバム『好色萬声男』（1990年）で、琵琶、尺八、三味線、四拍子などの邦楽器を重用し、最新アルバム『WHEN THE FUTURE LOVES THE PAST～未来が過去を愛するとき～』では、邦楽器とがっぷり四つに組んでコラボレーションしています。

ステージでは、吉村七重（二十絃箏）、一噌幸弘（能管）、三橋貴風（尺八）らのトップアーチストと一緒に、従来の音楽の枠にとらわれることなく、日本の音楽の可能性を追求します。また、“音楽で語り朗読で歌う”朗読パフォーマンスもあります。題材は、没後100年の小泉八雲版『牡丹灯籠』。デーモン閣下流“魘作”が、注目されます。

□**日時**□8月17日（午後7時）･18日（午後3時）
□**料金**□S席＝5,500円／A席＝4,500円
□**お問い合わせ**□こどもの城劇場事業本部【03-3797-5678】

施設見学　5月15日～6月14日

修学旅行を兼ねて「調査・研究」のために〔こどもの城〕を訪れる中・高校生が増えています。熱心にメモをとりながら、見学したり、スタッフに話を聞いたりしています。

□5月19日＝秋田県秋田市立土崎中学校（3年生5人）／総合的な学習の時間で少子化問題を調べている。修学旅行で関連施設を訪問。
□同日＝愛知県岩倉市立岩倉中学校（3年生10人）／修学旅行の班別体験活動・見学活動。
□5月20日＝三重県御浜町立御浜中学校（3年生8人）／修学旅行の職場体験学習。幼児教育コース。
□6月3日＝愛知県豊田市立梅坪台中学校（3年生3人）／修学旅行にともなう職場訪問学習。関連施設を訪問。
□同日＝東京都立文京高等学校（3年生19人）／保育選択の生徒。〔こどもの城〕の事業内容・施設概要の見学。
□6月10日＝土佐塾高等学校（高知県）（2年生4人）／進路選択・職業選択につなげるために、スタッフに話を聞く。

■青山劇場　☎03-3797-5678　http://www.aoyama.org

青山劇場

●プロードウェイミュージカル「ウエストサイドストーリー」SHONENTAI PLAYZONE '04
▽7月2日～8月5日▽SS席＝15,000円、S席＝13,000円、A席＝10,000円、立見＝9,000円　（問）0180-993-707
●伊勢正三 Solo Live
▽8月7日▽6,300円　（問）03-3498-9999
●Mr.マリック新・超魔術ライブツアー
▽8月8日▽5,500円　（問）03-3498-9999
●高円宮憲仁親王殿下メモリアル ローザンヌ国際バレエコンクール日本開催15周年 ローザンヌ・ガラ～ローザンヌ国際バレエコンクール受賞者による～
▽8月10･11日▽A席＝7,000円、B席＝6,000円　（問）03-3797-5678
●シアター・ドラマシティ ダンスアクトシリーズvol.4「盤上の敵」
▽8月14･15日▽S席＝8,500円、A席＝7,500円　（問）03-3498-9999
●デーモン小暮の邦楽維新Collaboration 青山夏場所「怪談 魘作・牡丹灯籠」
▽8月17･18日▽S席＝5,500円、A席＝4,500円　（問）03-3797-5678
●ライブエンターテイメントショー「OUT OF ORDER～笑うな！～」
▽8月24～29日▽6,000円（当日＝6,500円）　（問）03-3498-9999
●押尾コータローコンサートツアー2004 “Be HAPPY”
▽9月1･2日▽5,000円　（問）03-3498-9999
●内野 工朗プロデュース第2弾「郡 愛子リサイタル2～名月に愛が舞う～」
▽9月4日▽S席＝7,000円、A席＝6,000円　（問）03-3479-2245
●ミュージカル「ビッグ・リバー」～ハックルベリー・フィンの冒険～
▽9月28日～10月24日▽S席＝12,000円、A席＝8,000円　（問）03-3490-4949

青山円形劇場

●描者ムニエル10周年記念公演「バカが見る夢 すごい夢」
▽7月14～21日▽3,500円（当日＝3,800円）。14日のみ3,000円（当日＝3,300円）　（問）03-3260-0427
●えほん×ジャズ＝コドモもオトナもめちゃ楽しいシアターライブ「月猫えほん音楽会2004」
▽7月23～25日
※小学生と保護者対象の応募制招待公演　（問）03-3797-5678
●ミュージカルキッズ★アルゴ「ユー・ガット・ア・フレンド」
▽7月29日～8月8日▽5,000円　（問）03-3379-7291
●アキコ・カンダ・モダンダンス公演「アキコ・カンダ作品選」
▽8月10･11日▽4,600円　（問）048-645-6551

INFORMATION

●リーディング&ミュージック★南の島のティオ・2★「草色の空への水路」
▽8月24･25日▽大人＝4,000円、子ども＝2,000円、親子ペア券＝5,000円（当日券は、各500円増し）　（問）03-5778-4855
●シアタージャック「Fake Her～虚構の彼女～」
▽8月27～29日▽3,800円　（問）03-3975-4597
●シス・カンパニー公演「ママがわたしに言ったこと」
▽9月4日～10月3日▽6,500円　（問）03-5423-5906